

迎候同ハ商トニ一様無異
 謝辞ハ派代ヲ盡シテ會席ヲ終
 其備旨ヲ辨明スルニ
 式指辯士ハ交々立テテ會席ノ進退ヲ
 入退席 一二百冷 (内筆精團員録四頁冷)
 入退席 參答録
 辯 對 日本労働同盟大連聯合會
 主 冊 豊田鐵道會務團
 副 冊 天王寺公會堂
 初 日 大正十四年十一月十五日自午前六時至午後十時卅分
 會席終戰前僑會ノ進退

財團法人協同會大阪支所

レズ最後ノ勝利ヲ收メザルベカラズ
 ト云フガ如キ意味ヲ述ベタルガ辯士中赤松新太郎ハ論旨矯激ナル
 カ臨席警官ヨリ中止ヲ命ゼラル
 辯士氏名

大矢省三、川田又五郎、太田實、奥村辰夫、日高某、島本光
 藏、小林績、中野佐市、淡口義親、管武吉、楢本則秋、播磨
 義信、林計夫、堺政治、山内三四郎、牛原龜太郎、土井清、
 旭俊雄、赤松新太郎、平井美人、安藝盛、山口常次郎、井上
 良二、山内鐵吉、行下太藏、田中富治、岡田芳夫、原某、

因ニ入場料ニ依ル純益金ハ約百五十拾圓アリト云ヘリ
 須永支店長ハ本爭議ニ鑑ミ上京中ノ谷口房藏ヲ訪問シ尙名古屋本
 店土屋專務等ト協議ノ結果十七日午後五時大矢省三、井上良二及
 職工代表等口義親外五名ヲ招致シ問題ノ焦點トナレル解雇退職手
 當ノ件ニツキ會社側ハ最大限度ノ讓歩ヲ爲スベキヲ以テ職工側ニ